

# 熱い想いと走れ、 トロッコ列車。

## 南阿蘇鉄道紀行

ママさん特派員ルポ

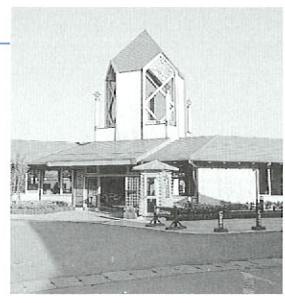
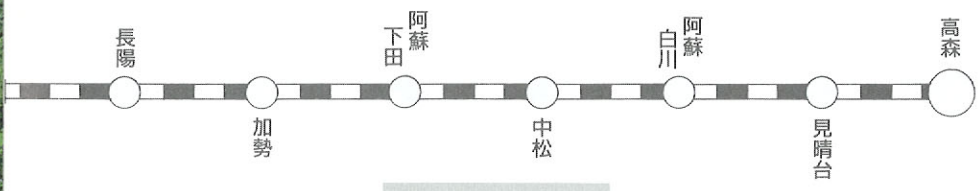
阿蘇は不思議な山。行く度に、ドキッとするほどの新鮮な魅力を見ることができます。しっとりとした日本的な風景もあるし、羊を羊にかえればスコットランドそのものと言えそうな風景もあります。大人も子供も、好きな流儀で阿蘇を楽しめるのが素敵です。そんな阿蘇の魅力がまた一つ、南阿蘇鉄道にトロッコ列車が走るというのを聞いて、さっそく乗りに行きました。

よく晴れた日曜日。出発の立野駅では、トロッコ列車はもう満員。発車を待つ子供たちの嬉しそうな顔。機関車のかわいらしいこと。木製の座席やテーブルも、素朴でいい感じです。列車は、一路高森をめざして動きはじめました。ひんやりしたトンネルを抜けると、一同車輪の下を見て歓声をあげます。白川の深い渓谷の上を走っているのです。流れゆく左右の緑は目に鮮やか。けれども、目を楽ませてくれるのは、他にもい



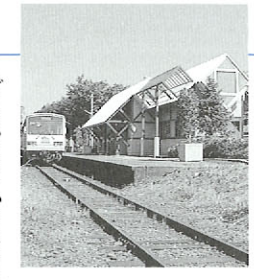
●阿蘇白川駅  
山の小さな教会+ショートケーキの印象。なかなかのお洒落。

風景に見とれる合間に、車内を観察すると、テーブルの向い側は福岡から来た親子連れ。お隣りは、地元のおばあさんです。この方のお話でトロッコ列車は観光列車と生活列車をかねていることがよくわかりました。お伽の国のような駅をいくつか過ぎて、列車は終点の高森駅へ。(ここから眺める根子岳のカッコイイこと!) 子供達はトロッコ列車と別れるのが惜しいよ



●高森駅  
高森町のコミュニティプラザとしても活用。

うで、いつまでもさわったり、一緒に写真に撮ってもらったりしています。木の香も新しい高森駅は、駅でもあり、売店でもあり、画廊



●中松駅  
一見、遊園地風の建物。公募による大学生の設計だとか。

でもあるという多目的の建物です。構内には、木のやさしさ、暖かさがいっぱい。木目の模様が面白いベンチに坐って、南阿蘇鉄道常務の矢野さんに色々とお話を伺いました。国鉄の廃止路線としてレールまで消えるはずだったこの鉄道を、何としてでも残そうと、地



ママさん特派員  
杉本 敦子さん

元の町や村が心を一つにして頑張ったこと。少しでも赤字を減らそうと始めたトロッコ列車が、人気者になったこと。けれども、地元の人達の生活路線でもあるので、ゆっくり倍の時間をかけて走るトロッコ列車の本数は、これ以上増やせないこと……

苦勞はあるけれど、さまざまな催し物や県内外の人々に利用してもらい、何とか採算のとれる鉄道にしたいと熱く常務さんは語られます。人々の熱い思いと阿蘇の素晴らしい自然が合体して、一つの大きなエネルギーとなり、トロッコ列車とレールバスが永遠に走り続けることが出来ればいいな、と本当に思いました。ガンバレ、南阿蘇鉄道。



立野